

令和4年度 小野市認知症地域支援推進員活動報告

1. 小野市の認知症地域支援推進員について

(1) 認知症地域支援推進員：2名

(2) 認知症地域支援推進員の役割

- 地域における認知症の人やその家族の支援体制の構築
認知症の人やその家族からの相談支援
絆カフェ（認知症カフェ）の開催
「チームオレンジおの」
- 地域の関係機関との連携
医療機関や介護の関係者との連携
認知症初期集中支援チームとの連携
- 認知症の理解や対応力向上のための支援
認知症サポーター養成講座の開催
認知症の人の家族を対象とした介護教室の開催

＜報告者＞小野市地域包括支援センター 今枝 陽子

2. 小野市の認知症施策

①	認知症の理解を深めるための普及・啓発	<ul style="list-style-type: none">・認知症サポーター・認知症キッズサポーター養成講座・認知症の人本人や家族からの発信支援・出前講座の開催・認知症図書の掲示・キャラバン・メイト連絡会の開催
②	認知症の予防・早期発見・早期診断	<ul style="list-style-type: none">・認知症初期集中支援チームの設置・ケアネットガイドブックの活用・もの忘れ検診事業・いきいき100歳体操・「おの楽しく体操」DVDのレンタル・販売・脳トレテキストの配布
③	医療・ケア・介護サービス・介護者の支援	<ul style="list-style-type: none">・在宅医療・介護連携推進事業・認知症ケアパスや連携ツールの周知・活用・認知症サポーター ステップアップ研修・「チームオレンジおの」の活動・絆カフェの立ち上げ支援、絆カフェ連絡会、講師派遣・高齢者外出見守り事前登録制度・高齢者外出見守り模擬訓練の実施・小野市地域の見守り活動に関する協定・認知症高齢者等見守り機器購入費等助成事業・介護者交流会・介護者家族会
④	若年性認知症施策の強化	<ul style="list-style-type: none">・総合相談窓口の設置・家族支援、生活環境の調整・認知症疾患医療センターや若年性認知症支援コーディネーター等との連携
⑤	認知症バリアフリーの推進と社会参加支援	<ul style="list-style-type: none">・「認知症バリアフリー」の推進

3. 令和4年度 小野市認知症地域支援推進員活動報告

地域共生社会・認知症バリアフリー実現にむけた取組

認知症サポーター「チームオレンジおの」立ち上げ

月	活動	内容
4月	周知	<ul style="list-style-type: none">・市内介護サービス事業所へ説明・ボランティア保険加入
7月	連絡会	<ul style="list-style-type: none">・名札、ユニフォーム配布、活動内容説明・神戸新聞に掲載
8月～3月	活動	<ul style="list-style-type: none">・毎月第2水曜日 13時30分～15時 (8月は新型コロナウイルス感染症を鑑み中止)
9月	広報	<ul style="list-style-type: none">・活動の様子を神戸新聞の取材を受け掲載・広報おの「ONO Press (おのプレス)」に掲載
10月	普及啓発	<ul style="list-style-type: none">・小学校4年生対象「高齢者外出見守り模擬訓練」にて道に迷う高齢者役を演じる
11月	普及啓発	<ul style="list-style-type: none">・モデル地区対象「高齢者外出見守り模擬訓練」にて道に迷う高齢者役を演じる・チームオレンジの活動紹介
12月	研修	<ul style="list-style-type: none">・認知症サポーター ステップアップ研修 「認知症ケアの理念・倫理」～旅のことばカード～
3月	連絡会	<ul style="list-style-type: none">・令和4年度の活動報告・振り返り・令和5年度の活動計画



「認知症キッズサポーター養成講座」の実施

令和4年度は計**449**名の認知症キッズサポーターが誕生
(平成27年度の実施開始以降、累計**3,249**名)



クイズで
楽しく学ぶ



道に迷った
高齢者に
声をかける
体験



ゲームで
脳をイメージ

【受講した児童の声】

- 認知症の人は全部できないのではなくて、できることもあるんだとわかりました
- 認知症の人と接するときのポイントを覚えることができた
- オレンジリングをつけて優しくよりそいたい
- クイズが楽しくて分かりやすかったです

高齢者外出見守り事前登録制度

高齢者外出見守り事前登録を希望された市内在住の65歳以上、又は40～64歳で要介護認定を受けている人に「お出かけ見守りQRコードシール」を無料で10枚お渡ししています

令和5年3月末現在 外出見守り事前登録者 **188名**

発見者がスマートフォンでQRコードを読み取る

市の連絡先が表示される

市や警察へ、シールに印字された個人番号を伝え、素早い身元確認・保護へ



認知症高齢者等見守り機器購入費等助成

認知症等により行方不明になるおそれのある高齢者等の所在を特定することができるGPS機器の購入またはレンタルに係る初期費用の一部を助成しています

令和4年12月開始

令和5年3月末現在 利用者 **3名**

高齢者外出見守り模擬訓練の実施

認知症を正しく理解し、認知症の方に配慮した声掛けや見守りができるように、平成27年度より、モデル地区において高齢者見守り模擬訓練を実施しています

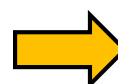
令和4年11月19日実施 44名が参加



認知症サポーター養成講座を受講



声かけの仕方を寸劇で学ぶ



認知症役の名前や特徴を
模擬警察署に通報

【参加者の声】

- ほのぼのと心温まる講話を聞き、認知症の方が幸福に生きていける社会であってほしいと思う時間でした
- お互いにコミュニケーションをとり、地域全体で見守りをしていきたい
- 関心を持って声掛けを行いたいと思います
- 学べて良かった。体験することの大切さも実感しました
- QRコードがもっと普及すると安心

【予定】令和5年度 来住地区にて実施

絆カフェ（認知症カフェ）

市内10か所（令和5年3月現在）で実施
※新型コロナウイルス感染症対策として、7か所休止中



認知症図書設置

小野市立図書館の特設コーナーに
認知症に関する本を掲示



認知症地域支援推進員活動の今後の課題

- ◆認知症に関する理解促進をはじめ、相談窓口の周知、認知症の人本人や家族からの発信支援に取り組む
- ◆地域の要望に応じて出前養成講座を開催するとともに、民間企業や児童館等に周知を行い、若い世代へのアプローチを積極的に行う
- ◆若年性認知症の人に対応するサービスの創設や各種事業との連携、体制構築を図る
- ◆「チームオレンジおの」の地域での活動を拡充し、認知症高齢者を地域全体で見守る体制を整備する

認知症地域支援推進員としての思い

- ◆小野市は高齢者にやさしいまちづくりを推進しています。地域での支え合い、ニーズに応じた施設・住まいの支援、社会参加の促進などを通じて、地域づくりに関わっていきたいと思います
- ◆認知症になることで、外出や交流の機会が減っている実態があります。生活のあらゆる場面での障壁を取り除き、認知症になっても、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるように、『認知症バリアフリー』を推進していきたいと思います